

【技術分類】 1 - 9 - 2 メガネの構造 / ネジ・ビス / 目的

【 F I 】 G02C 5/22

【技術名称】 1 - 9 - 2 - 1 緩み止め

【技術内容】

通常のナットを使用した場合、長年使用していると振動や衝撃などにより、ネジが次第に緩んでしまう。この緩みがメガネのレンズやフレームのガタつきの原因となり、使用者の不快感や視界の悪さを誘発する原因となる。

図 1 に示されるように、ナットに 4 箇所の切り込みを入れることにより、緩みを防止するナットがある。ネジを締め付けた際に、この部分が外側に押し広げられ、その中心に反発力が作用して、ネジが締め付けられるものである（図 2）。

ナットの一部に加工を施しただけなので、外観に変形を与えることもなく、また、ポリカーボネートなどの樹脂と組み合わせることによって、より大きな緩み止めの効果が得られる。

ネジ山に鱗状の突起を設けることにより、めねじとの密着性を高め、緩み止め効果を高めるネジや、専用ワッシャーに組み込むことでさらに強力な緩み止め効果を発揮するナットもある。

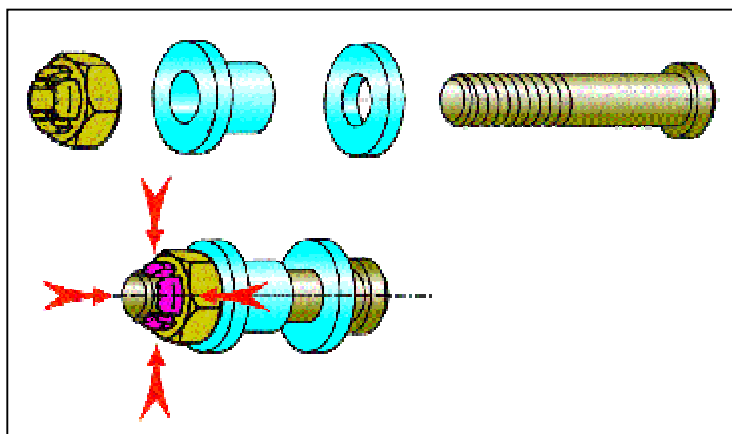
【図】

図 1 緩み止めナット



出典：【出典 / 参考資料】 出典に同じ、「クロスグリップナット」

図 2 緩み止めナットの概略図



出典：【出典 / 参考資料】 出典に同じ、「クロスグリップナット」

【出典 / 参考資料】

出典：フクオカ精密株式会社 ホームページ、「クロスグリップナット」

<http://www.fukuokarashi.jp/seihin/megane/orizinal/yurumidome.htm>

検索日：2005 年 11 月 15 日